

## 昭和44年度研究プロジェクト

社会保障研究所は昭和40年1月の創設にかかり、すでに4ヵ年を経過した。これまでは幾つかの研究会を設け、それぞれ統計調査、経済分析、社会分析、制度研究、政策研究などを主眼として、年々プロジェクトを定め、社会保障ならびに周辺の諸問題を取りあげて研究を進めてきた。ところで、いまや地固めの時期を了え、研究体制の一層の拡充をはからねばならない段階にいたったと考えられる。研究会運営の根本方針は今後も堅持していくつもりであるが、この際次の数年をめどとして、研究テーマの前進をはかることとしたい。この意味でまず総括的に重点をおくべき共通テーマを定め、それらを適当にとりいれて、研究会毎の年次研究プロジェクトを作成することとする。

### I 共通テーマについて

今後数年の間に重点をおくべき共通テーマとして、次の三つの課題を取りあげたい。

第1に社会計画の立場から社会保障を取りあげるという問題について、それを理論的・応用的に確立していきたい。これまでもわれわれは国連その他の諸文献を検討し、ソーシャル・ニードの確定の仕方やコスト、ベネフィット、アナリシスの解釈などを研究してきたが、まだこの問題を本格的にとりあげるまでにいたっていない。最近アメリカの国家予算について PPBS (Planning-Programming-Budgeting-System) などの提案が注目を引いているが、われわれも社会保障について計量的な社会計画の確立に真剣にとり組む必要があることを痛感している。ただそのためには相当の準備を要し、諸文献の渉猟、方法論の吟味、計画に乗せるための資料の整備に努めなければならない。恐らく、問題は複雑していて、計量化といっても多くの限界に逢着するであろうが、われわれは実際のプログラミングによる現実的応用を目指して研究を進めたいと思っている。問題は各研究会にまたがっており、相互の協力によって最終の目標を達成し得るものと思っているが、差し当り第1(経済分析)研究会を中心に方法論を固めることを期待したい。

第2に社会保障水準を統計的・実証的に確立したい。これについても、われわれはすでに国連社会開発研究所

と共同で日本の生活水準指数の過去40年の試算を行ったことがあり、また低所得層に関する標識の整理もとりあげてきた。これらは今後も継続して行われるべき課題であるが、ここでいう社会保障水準の確立はこれらの問題と関連しつつ、当研究所の独特の仕事として是非実施したいと思っている。社会保障といっても、単に給付総額の対国民所得比のようなものを指すのではなく、年金、医療、生活保護、社会福祉などの諸給付について、人口構成や所得階層別などとの関連を通じて現実的なニードの充足の状態を確かめるように努め、さらに抛出の関係も明らかにしていきたいと考えている。その際、実態調査によってニードの評価ならびに施策効果の検討を行うべきであろう。これは社会統計の体系化の一環として、第2(統計調査)研究会が主としてとりあげる問題であるが、社会的ニードについては第3(社会分析)研究会の協力が必要であろう。

第3に社会保障制度の研究についてとくにアジア諸国との交流を進めたい。われわれはこれまでも必要に応じて外国諸機関との交流をはかってきたし、それは今後も続けていくであろう。しかし、日本の国際的地位から見て、アジアの発展途上にある諸国との研究的交流を今後一段と促進することは、とくに必要であろう。社会保障制度に関するかぎり、これら諸国は多くは行政管理上の諸問題をかかえていると思われるが、われわれとしてはむしろ研究的な立場からの交流をはかりたいと考えている。それには刊行物を交換するほか、研修、留学、コンファレンスなどを組織的に計画することが必要である。まず差し当り ECAFE, UN, Asian Institute for Economic Development, ILO, Regional Office for Asia などの諸機関と密接に連絡をはかり、着々その範囲を拡げていきたい。この問題については、とくに第3(社会分析)研究会と第5(制度)研究会に期待したい。

### II 研究会別プロジェクトについて

#### 第I(経済分析)研究会

社会保障の経済理論的実証的解明を通して広く社会計画への基礎づけを行う。

##### (1) 社会計画の計量分析

社会保障の役割を客観的に把握し、社会計画の策定に資するためにそのコストとベネフィットの定量化に関する基礎的方法論を検討し、いわゆる PPBS 方式の採用を考える。

#### (2) 社会保障と経済成長

経済成長と社会保障の関係を、生産・分配・支出の三つの側面から究明するために、社会福祉資本の計測と分析、再分配効果、ならびに国民貯蓄への影響について掘り下げた分析を行う。

#### (3) 年金と医療の経済分析

特殊問題として現在とくに論議の多い年金——老齢化と年金需要、財源問題ならびに積立金の財政金融問題——と医療——医療需給メカニズム、医療保険財政の経済問題——について経済学的アプローチを行う。

### 第 II (統計調査) 研究会

社会保障の諸指標に関する統計的・実証的研究を行い、社会保障水準の確立に資する。

#### (1) 生活水準指数の作成

国連方式に基き、わが国の生活水準指数を作成する。さらに消費水準ならびに所得分布との関係を分析するとともに、外国との比較をもあわせ行う。

#### (2) 住居水準の測定

生活水準の一環としての観点から、その測定のための諸指標について研究を進める。とくに住宅関係ストックの量および質を重視するとともに、地域別・階層別にも配意する。

#### (3) 貧困水準の測定

水準測定のための諸指標について研究を進めるとともに、その指標の時系列的適用をはかるために既存年次調査の再検討、新規実態調査の企画なども行う。

なお、上記研究を補足するものとして、児童養育費の検討を続けるものとする。

### 第 III (社会分析) 研究会

社会保障の社会学的検討を行い、とくに社会計画策定の基礎づけを行う。

#### (1) 地域開発計画に関する研究

社会変動のもとで新たに発生している過密・過疎問題に焦点をあて、地域の変貌過程を明らかにすると同時に、地域開発計画の策定と社会保障の関連を検討する。さらに海外（特に発展途上国）の事例についても研究を行う。

#### (2) 社会変動と社会福祉計画に関する研究

老人福祉計画の策定を手がかりとしながら、社会福祉

計画の出発点となる社会的ニーズの把握とその標準化をはかり、計画策定の方法論をあわせて検討する。

#### (3) 生活構造論の視点からみた所得保障の機能についての研究

生活構造論の視点から所得保障の機能とその限界を明らかにすると同時に生活保障を体系化するための理論的枠組を確定する。

### 第 IV (経済・社会合同) 研究会

経済学と社会学とのインターデスプリナリーな諸問題を討議する。とくに、福祉における経済と社会について共同作業を試みる。

### 第 V (制度) 研究会

各国社会保障制度の歴史的研究を主とし、各国制度の特質を明らかにする。

#### (1) アメリカ合衆国における社会保障の研究

老人病院保険、地域に対する総合医療計画、ならびに貧困対策 (war on poverty) などを中心として、アメリカ社会保障の最近の動向を検討する。

#### (2) 各国制度の比較研究

とくに先進諸国における制度の形成過程と、その歴史的背景を中心として、各国別にあるいは制度の類型別に検討を加え、各国制度の比較研究を進める。

#### (3) 東南アジア諸国の社会保障の研究

東南アジア諸国との交流は本研究所当初からの課題であるが、これら開発途上の諸国における公衆衛生、救済施策、社会福祉などを中心として、今後の課題を検討する。

### 第 VI (政策) 研究会

社会保障に関連あるその時々行政上のトピックスを討議する。とくに政策判断の根拠について効果および財源の検討に注目し、社会計画に役立つ資料整備に努める。

### 附 研究会別研究成果一覧 (昭和 40～43 年度)

従来、研究会別プロジェクトの概要の発表にあたって、前年度までの研究経過を研究計画に含めて記載してきたが、今回はこの研究経過の記載を省略し、その代りに各研究会別に、主題に関連して発表を行ってきた報告書、論文、資料等を研究成果の一部として発表することにした。

ここに発表する「研究成果一覧」は、各研究会の研究分担者が、本研究所の次の刊行物に発表したものに限定している。すなわち『季刊社会保障研究』(Vol. 1, No. 1

より Vol. 4, No. 3 および別冊), 『所内資料』(No. 6501 より No. 6806 まで), 『海外社会保障情報』(No. 1 より No. 4 まで) がそれである。この他, 『戦後の社会保障』(本論・資料) は, 特別研究の成果として, ここに収録する予定であったが, 誌幅の関係で割愛した。なお本研究所の刊行物である翻訳双書, 研究双書についても, ここでは省略しているので, これらについては, 別に本研究所出版物一覧を参考にさせていただきたい。

### 第 1 (経済分析) 研究会

「社会保障の経済学」(大熊一郎) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「国民所得における社会保障費の統計的研究」(大熊, 江見康一, 小野旭, 地主重美ほか) 所内資料 No. 6504

「社会保障と所得再分配効果」(地主) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 4

「経済発展における所得の地域格差」(都村敦子) 所内資料 No. 6602

「経済計画の変遷と社会保障」(都村) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 2

「年金積立金運用の原理と運用方法」(山田雄三, 大熊, 江見, 地主) 所内資料 No. 6701

「保健・医療サービスの経済分析」(都村) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 1

### 第 2 (統計調査) 研究会

「厚生行政基礎調査について」(小沼正) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 2

「平均余命」(前田正久) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 2

「社会指標と経済指標の相関」(山田, 都村, 花島政三郎, 大本圭野) 所内資料 No. 6505

「日本における地域別統計による経済的要因と社会的要因との相関について」(山田, 都村, 花島, 大本) 所内資料 No. 6601

「生活水準指数」(曾原利満) 所内資料 No. 6604

「わが国戦後における最低生活費研究の系譜」(小沼) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 1

「経済指標・社会指標および地域指標の活用に関する理論的・実証的研究」(前田) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 2

「現代の最低生活水準」(中鉢正美) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 2

「わが国の生活水準指数——国連方式による——試算

大正 14 年～昭和 40 年」(曾原) 所内資料 No. 6702

### 第 3 (社会分析) 研究会

「理論社会学と応用社会学」(青井和夫) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「地域開発における地域の検討」(松原治郎) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 2

「社会開発と人口要因」(安川正彬) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 3

「大都市近郊における高齢者とその子女」(森岡清美ほか) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 3

「国際社会事業会議について(その 1)」(谷昌恒) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 4

「国際社会事業会議について(その 2)」(三浦文夫, 花島) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 1

「国際社会事業会議について(その 3)」(三浦, 花島) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 2

「社会開発の視点からみた社会福祉」(三浦) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 2

「労働者家族における児童養育費の研究(1)——家族周期からみた生活構造の分析を中心に——」(森岡) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 3

「労働者家族における児童養育費の研究(2)——実族周期からみた家計構造の分析を中心に——」(前田) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 3

「地域開発と社会開発」(福武直) 季刊社会保障研究地域開発特集

「地域開発——総合開発計画——における福祉計画の現状」(松原) 季刊社会保障研究地域開発特集

「コミュニティ・デベロップメントの概念と問題」(三浦) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 1

「農村家族における児童養育費の研究(1)——家族周期からみた生活構造の分析を中心に——」(森岡) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 4

「農村家族における児童養育費の研究(2)——家族周期からみた家計を中心に——」(前田) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 4

「農村家族における児童養育費の研究(3)——栄養分析を中心として——」(長嶺晋吉ほか) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 4

「戦後の社会保障をめぐる新聞論調と世論——日刊紙の分析——」(花島) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 4

「近郊都市の老人をめぐる社会的関係網」(森岡) 所内資料 No. 6704

「高齢者就労状況の一事例」(三浦) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 2

「アメリカにおける老人対策の展開(1959~1963)——アメリカ上院老人問題特別委員会報告を中心に——」(村山冴子) 所内資料 No. 6803

「新聞論調よりみた社会保障の展開とマス・コミの機能」(花島) 所内資料 No. 6804

「高齢者就労の実態と問題点」(三浦) 所内資料 No. 6805

#### 第4 (経済・社会合同) 研究会

「福祉国家の価値体系」(武藤光朗) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 2

「社会体制と社会保障——とくにナショナルシステムとしての社会保障——」(山田) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 3

「福祉国家の形成」(谷) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 3

#### 第5 (制度) 研究会

「北欧諸国における社会保障費10年の歩み」(小沼) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「アメリカの貧困問題」(中鉢) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「スウェーデンの社会保障制度——年金保険制度を中心として——」(平石) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「アメリカにおける公衆衛生・医療制度小史」(橋本正己) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「イギリス社会保険の形成過程」(小山路男) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 4

「アメリカ社会保障の展開——35年法に至る」(谷) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 1

「占領政策下の福祉政策—GHQ の覚書を中心に—」(谷) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 2

「占領下における社会福祉の概要——ネフ論文を中心に——」(村山) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 3

「北欧諸国における社会保障費——1948~64年——」(小沼) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 3

「EECにおける社会保障の最近の動向」(三浦) 海外社会保障情報 No. 3

「普遍性の原則と選別性の原則」(谷) 海外社会保障情報 No. 4

「アメリカの社会保障」(中鉢, 谷, 橋本, 平石) 所内資料 No. 6802

「国民老齢退職年金と社会保険」イギリス保健・社会保障省 所内資料 No. 6806

#### 第6 (政策) 研究会

「社会保障における年金制度の問題点」(高橋武) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 1

「社会計画における青少年の問題——ユニセフ・アジア会議の資料について」(山田ほか) 季刊社会保障研究 Vol. 1, No. 4

「社会計画の方法に関する基礎問題」(山田, 都村) 所内資料 No. 6501

「社会保障とは何ぞや(その1)」(シンポジウム議事録) 所内資料 No. 6502

「社会保障とは何ぞや(その2)」(シンポジウム議事録) 所内資料 No. 6503

「社会保障とは何ぞや(その3)」(シンポジウム議事録) 所内資料 No. 6506

「社会保障の体系化をめぐる」(江見) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 1

「社会保障の体系と社会保障制度審議会」(谷) 季刊社会保障研究 Vol. 2, No. 1

「社会保障の課題と方向——国際動向を含めて——」(小山) 季刊社会保障研究社会開発特集

「社会開発と労働問題」(高橋) 季刊社会保障研究社会開発特集

「児童手当制度について経済計画における社会保障」(山田ほか) 所内資料 No. 6603

「社会保障の体系化」(シンポジウム議事録) 所内資料 No. 6605

「政策研究の基本的態度について」(山田) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 1

「公衆衛生の歴史的発展の課題」(橋本) 季刊社会保障研究 Vol. 3, No. 2

「医療保険と医療保障—改革試案の内容について—」(小山) 所内資料 No. 6705

「社会保障の抛出と給付——とくに社会保険を中心として——」(小山) 季刊社会保障研究3周年記念シンポジウム特集

「財政硬直化論と社会保障」(江見) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 1

「生活保護の問題点—最近の関係論文をめぐって—」(小沼) 季刊社会保障研究 Vol. 4, No. 2

「日本の社会保障」(河角泰助, 小山, 三浦, 谷, 平石ほか) 所内資料 No. 6801